



2022年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月3日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
 コード番号 3657 URL <https://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2021年9月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	15,484	24.9	1,512	18.5	1,549	5.0	908	0.5
2021年1月期第2四半期	12,399	0.0	1,276	20.8	1,474	4.4	903	5.3

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 1,162百万円 (96.2%) 2021年1月期第2四半期 592百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	23.97	
2021年1月期第2四半期	23.88	23.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	21,652	16,344	75.5
2021年1月期	20,389	15,675	76.9

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 16,344百万円 2021年1月期 15,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		0.00		13.00	13.00
2022年1月期		0.00			
2022年1月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,224	24.3	3,535	9.9	3,539	1.6	2,157	1.7	56.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期2Q	38,156,000 株	2021年1月期	38,156,000 株
期末自己株式数	2022年1月期2Q	269,802 株	2021年1月期	269,734 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期2Q	37,886,231 株	2021年1月期2Q	37,851,813 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社は、決算に関する説明(動画)及び説明資料について、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があります、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、世界的な感染症拡大に伴う外出自粛により、ゲームソフト及びハード市場が拡大しております。一方、ネットサポート事業の関連市場においては、同様に、非対面型、非接触型サービスであるEコマース、キャッシュレス決済市場が拡大しております。また、感染症拡大は、学校における授業のオンライン化を促進させることになり、政府によるGIGAスクール構想の重要性も増しております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。市場において新たなサービスが創出されることにより、デバッグ・検証事業及びネットサポート事業ともにビジネスチャンスにつながっております。当第2四半期連結累計期間においては、当社及び主要子会社の営業・管理部門を同一オフィスへ集約するため、2月に本社移転・増床を行いました。また、当社は経営効率化の観点から、3月に中間持株会社であるペイサー株式会社を吸収合併いたしました。ポルトゥウィン株式会社では、メディア・コンテンツ関連事業の拡大を図ることを目的として、2月に株式会社CRESTへゲームの難易度等のチューニング、開発サポートに関する事業を譲渡いたしました。また、ゲーム以外のソフトウェアやシステム開発を受託すると同時に第三者検証サービスも受託することを目的として、7月に株式会社MSDホールディングスを子会社化いたしました。株式会社キュービスト及び株式会社CRESTは、両社のメディア・コンテンツ事業分野におけるシナジーを向上させるために、4月に同一ビルへ本社移転・増床を行いました。ビットクルー株式会社では、今後の受注増加を見据え、新潟サービスセンター開設、仙台サービスセンターを移転・増床いたしました。海外では事業拡大を目的として、OneXP LLC（米国現地法人）、OneXP UK Limited（英国現地法人）及び1518 Studios Rus LLC（ロシア現地法人）を設立いたしました。国内拠点と海外11ヵ国18拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、音声収録、ゲーム開発・マーケティング支援、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,484,928千円（前年同期比24.9%増）、営業利益は1,512,266千円（同18.5%増）、経常利益は1,549,018千円（同5.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は908,110千円（同0.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、国内外グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）、音声収録等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスの受注を推進いたしました。株式会社クアーズでは、ノンゲーム市場における第三者検証サービスの受注が増加いたしました。株式会社キュービスト、株式会社カラフル、株式会社CRESTでは、グラフィックやゲーム・アニメ制作に関連するメディア・コンテンツ事業の拡大を推進いたしました。また、ポルトゥウィン株式会社では政府のGIGAスクール構想に基づく学校ICT化サポート事業者として、タブレット端末のキッキングサービスを受注いたしました。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は11,764,765千円（前年同期比27.3%増）、営業利益は1,160,347千円（同6.4%増）となりました。

② ネットサポート事業

当事業におきましては、QRコード決済や仮想通貨等のフィンテック関連サービスにおける不正モニタリング、本人確認手続き、アンチマネーロンダリングや振る舞い検知サービスの受注が増加いたしました。AI関連サービスにおけるデータ認識評価や、デバッグ・検証事業との営業連携によりゲーム市場向けのカスタマーサポートの受注も増加いたしました。また、ビットクルー株式会社では政府のGIGAスクール構想に基づく学校ICT化サポート事業者として、ICT環境整備の設計等のサービスを受注いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は3,560,847千円（前年同期比16.5%増）、営業利益は364,282千円（同59.9%増）となりました。

③ その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しております。アイメイド株式会社において、医療機関で働く外国人人材のビザ取得や就学等、国内生活手続きをサポートするサービスを提供しております。当事業の売上高は159,316千円（前年同期比58.3%増）、営業損失は7,306千円（前年同期は68,071千円の損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて927,381千円(5.4%)減少し、16,175,167千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が448,970千円、その他(前払費用等)が151,225千円増加したものの、現金及び預金が1,529,565千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,190,126千円(66.6%)増加し、5,476,903千円となりました。これは、主にのれんが1,973,757千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,262,744千円(6.2%)増加し、21,652,070千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて326,906千円(7.3%)増加し、4,780,913千円となりました。これは、主に未払法人税等が311,085千円、その他(前受金等)が190,595千円減少したものの、未払金が493,963千円、未払費用が250,550千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて266,172千円(102.3%)増加し、526,401千円となりました。これは、主に長期借入金が256,358千円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて593,079千円(12.6%)増加し、5,307,315千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて669,665千円(4.3%)増加し、16,344,755千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が415,588千円、為替換算調整勘定が251,968千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、売上高、利益ともに計画を上回り推移いたしました。第3四半期以降については、株式会社MSDホールディングス、Panda Graphics株式会社、株式会社デルファイサウンドの買収により当社連結子会社が増加することから、本日(2021年9月3日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」とおり、通期連結業績予想を修正しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,158,548	9,628,983
受取手形及び売掛金	4,504,541	4,953,511
商品及び製品	861	324
仕掛品	172,920	178,990
その他	1,308,165	1,459,391
貸倒引当金	△42,488	△46,034
流動資産合計	17,102,548	16,175,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	893,190	958,062
減価償却累計額	△544,376	△552,180
建物及び構築物(純額)	348,814	405,881
機械装置及び運搬具	23,081	23,324
減価償却累計額	△15,860	△16,799
機械装置及び運搬具(純額)	7,221	6,525
工具、器具及び備品	1,616,860	1,777,781
減価償却累計額	△1,294,048	△1,394,631
工具、器具及び備品(純額)	322,812	383,150
その他	15,306	—
有形固定資産合計	694,154	795,557
無形固定資産		
のれん	511,654	2,485,412
ソフトウェア	225,961	251,321
その他	202,538	202,813
無形固定資産合計	940,155	2,939,547
投資その他の資産		
投資有価証券	654,071	710,660
敷金及び保証金	751,910	752,415
繰延税金資産	195,008	208,902
その他	128,470	165,714
貸倒引当金	△76,994	△95,894
投資その他の資産合計	1,652,466	1,741,798
固定資産合計	3,286,776	5,476,903
資産合計	20,389,325	21,652,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,540	—
1年内返済予定の長期借入金	7,620	34,104
未払金	2,067,679	2,561,642
未払費用	216,301	466,851
未払法人税等	970,324	659,239
賞与引当金	56,339	118,469
その他	1,131,201	940,605
流動負債合計	4,454,007	4,780,913
固定負債		
長期借入金	34,365	290,723
退職給付に係る負債	96,572	106,064
繰延税金負債	31,950	27,720
その他	97,340	101,894
固定負債合計	260,228	526,401
負債合計	4,714,236	5,307,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,379,899	2,379,899
利益剰余金	12,372,175	12,787,763
自己株式	△167,696	△167,784
株主資本合計	15,823,442	16,238,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,373	54,520
為替換算調整勘定	△200,676	51,291
その他の包括利益累計額合計	△152,303	105,812
非支配株主持分	3,950	—
純資産合計	15,675,089	16,344,755
負債純資産合計	20,389,325	21,652,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	12,399,500	15,484,928
売上原価	8,822,126	11,068,396
売上総利益	3,577,373	4,416,532
販売費及び一般管理費	2,300,948	2,904,266
営業利益	1,276,424	1,512,266
営業外収益		
為替差益	39,432	18,608
助成金収入	46,668	46,264
保険解約返戻金	106,643	—
その他	9,693	10,765
営業外収益合計	202,437	75,638
営業外費用		
支払利息	1,246	518
持分法による投資損失	—	30,748
その他	2,939	7,618
営業外費用合計	4,186	38,886
経常利益	1,474,675	1,549,018
特別損失		
固定資産除却損	—	41,767
特別損失合計	—	41,767
税金等調整前四半期純利益	1,474,675	1,507,251
法人税等	608,404	603,312
四半期純利益	866,270	903,938
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△37,695	△4,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	903,966	908,110

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	866,270	903,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,109	6,147
為替換算調整勘定	△162,899	232,180
持分法適用会社に対する持分相当額	—	20,010
その他の包括利益合計	△274,009	258,337
四半期包括利益	592,261	1,162,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,159	1,166,225
非支配株主に係る四半期包括利益	△37,897	△3,950

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,474,675	1,507,251
減価償却費	175,900	187,440
のれん償却額	130,307	186,802
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	53,243	22,445
賞与引当金の増減額 (△は減少)	55,694	35,407
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,851	9,491
受取利息及び受取配当金	△1,343	△2,438
保険解約返戻金	△106,643	—
助成金収入	—	△46,264
持分法による投資損益 (△は益)	—	30,748
支払利息	1,246	518
為替差損益 (△は益)	△390	△23,779
固定資産除却損	—	41,767
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,973	99,383
未収入金の増減額 (△は増加)	△38,181	△24,815
未払金の増減額 (△は減少)	△78,497	△71,622
未払費用の増減額 (△は減少)	156,556	133,405
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,763	△163,265
預り金の増減額 (△は減少)	△150,034	△5,754
その他	△310,925	△173,216
小計	1,259,724	1,743,504
利息及び配当金の受取額	505	3,862
助成金の受取額	—	46,264
利息の支払額	△889	△1,522
法人税等の支払額	△436,275	△1,019,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	823,064	772,128
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133,208	△262,153
有形固定資産の売却による収入	—	2,312
無形固定資産の取得による支出	△147,643	△43,853
投資有価証券の取得による支出	△185,907	△50,849
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,138,569
事業譲受による支出	—	△477,539
貸付けによる支出	△1,283	△1,723
貸付金の回収による収入	5,961	4,515
敷金及び保証金の差入による支出	△80,023	△13,874
敷金及び保証金の回収による収入	4,353	60,885
その他	135,314	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402,437	△1,920,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	494,644	△4,540
長期借入金の返済による支出	△2,708	△3,828
株式の発行による収入	252	—
配当金の支払額	△454,174	△492,521
自己株式の取得による支出	—	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,014	△500,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,752	120,134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	434,889	△1,529,565
現金及び現金同等物の期首残高	10,514,170	11,158,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,949,060	9,628,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,243,455	3,055,371	12,298,827	100,672	12,399,500	—	12,399,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97,307	97,307	—	97,307	△97,307	—
計	9,243,455	3,152,679	12,396,135	100,672	12,496,807	△97,307	12,399,500
セグメント利益 又は損失(△)	1,090,897	227,837	1,318,734	△68,071	1,250,662	25,761	1,276,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 25,761 千円には、セグメント間取引消去 366,514 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340,752 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,764,765	3,560,847	15,325,612	159,316	15,484,928	—	15,484,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,018	89,931	94,950	—	94,950	△94,950	—
計	11,769,784	3,650,779	15,420,563	159,316	15,579,879	△94,950	15,484,928
セグメント利益 又は損失 (△)	1,160,347	364,282	1,524,630	△7,306	1,517,324	△5,057	1,512,266

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,057千円には、セグメント間取引消去419,218千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△424,276千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

デバッグ・検証事業において当社の連結子会社であるポールトゥウィン株式会社は、株式会社MSDホールディングスの株式を取得しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,477,679千円であります。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。